ステキヒカリちゃん
高橋のり

るす電に
なつかしいあの人の声が
入っていた

もしもし
明日の森高の
コンサートの
のチケット
あるんだけど
行かないか
6時に……
ピッピッ

え…どうしよう
なんで
なんだろう
……………
ぜんぜん連絡
なかったのに
何で今頃
誘ったり
するのかな…

あの人
別に彼氏って
わけでもなかったし
変な関係だった
よなー
ほかにも
誰か行くのかな
私だけかな………
…………

あっバイト
どうしよう
何とかならないかな
ん～ 何とかなれ
でも森高のコンサートは
行ってみたいっ。
きっとタダかも

最近、
残業も
してるし
謙虚な姿勢で
のぞめば
休ましてくれるかも
フフッフフッ

今日すいませんが
歯医者で、5時までで
いいですか？ えっいい!?
はい、わかりました。

やった
やったー
思いどおり

レコード店
フローリスト
TELBOX
ん〜
遅いなあ
だまされたかな

トコ
トコ

きた!!

ヨオッ

ハイ
チケット
24列目か
1階 24列

何か へんなの〜
何を話していいか
わかんない感じ

昔はどんな人だったかな この人……

おもしろくて
クリエイティブな面で
すごい人で……
いろんな事を知っていた。
でも彼の行動は
ナゾにつつまれていた。

こんな事をしていた私でさえ
ナゾな人だと思った

チュ〜ッ

けどいっしょにいたら
甘えん坊なのかな？と思った

ライブ後
ザ・ストレス ツアー
森高千里
すっごい雨
かさ持ってないんですか?

おなかすいた?
はっはい

じゃ行こう
何かなぁ~!? へん へん

少々お待ち下さい
はい

しーん

何か
話さなくちゃ

この顔
ななめ45度向いちゃって

なんか考え事してるみたい
でも別に楽しそうじゃないし
なんかおもしろくないな
昔はどうだったっけ……
もっと楽しかった気がする

ガタン
カタン

やきとり

20

なんかつまんなかったな
今日のコンサート
森高はよかったけど

何かあの人のことは
本当に
好きじゃなく
なっちゃったん
だなー。

やっぱり
本当に好きな人とじゃないと
それほどおもしろくないんだな

おしまい

脱皮

佐々木明

その日は雨で
まだ夜も
明けきらぬと
いうのに

オレは妙な
寒けと

理不尽な束縛の
うちに

ゴモッ
目が覚めたんだ。

そして見たのは
怪しげな男の
後ろ姿

それが……また……

オレなのだ!

こんなバカな事って……

まてよ
お前は……
オレの……
皮だ！

あ
人の電話に
勝手に出やがったな
もしもし

あっ
害虫センター
ね
遅いじゃない
ですか
待ってたんですよ

害虫センター

ええ
ゴキブリや
シロアリじゃ
ありません
例のやつです

ええ、まア
要するにそう
いうことです
ハハハハハ
ありがとう
ございます

勝手な
ことをしやがって
オレは金は
払わんぞ

おい
人の服を着て……
お前は……
どこへ行く
ガチャ

おい！
バタン

くそお
あの様子だと
オレの代わりに
出社するつもり
らしいぞ

!!

コトリ

ちょっと……

バタン
おい！

ポヘノ
お!

なんなんだよ
あいつら
妙な物を置いてきやがった
チッ チッ チッ チッ
それにしても
この音は……

ゲホッ
ゲホッ

プシュー

42

42

殺虫剤だ!

うう
奴らオレが目に入らなかったのか

それとも
オレを害虫と……
まさか……

いやいや
そんなはずは
ない

だが なぜ オレは
かくれているんだ

そうだ
かくれる理由は
何もないぞ
ズ……
ここはまず
堂々とした
態度で……

堂々と

堂々と

毒虫だ
毒虫だ
どうしてだ!
気をつけろ

保健所に
連絡しろ!
オレは虫じゃない
そか

虫じゃない
人だ……
ゴォン
ゴォ……

ああ……

しまった……

つい……
こんな所に逃げこんでしまった
ポタ
ポタ-

もう出られない……
ポコッ
ポコッ

これじゃ
ほんとに……

虫じゃないか……

目の奥が痛い……

助けてくれ……
ポタァーン
ポタァァン
ポタァ

ポタァーン

ゴボッ
ゴボッ

ギョッ
ゴボッ

う……む

これは……
これは幻覚だ！

決まってるじゃないか……

目をつむれ！

幻覚……

幻覚……

幻覚……

幻……覚……

ピィピィピィピピピピ

おいで
おいで
おいで

ピチャン
ピーピー ピピピピ
ほら こっちへ

ピチャッ…

こっちへ おいで
ピーピーピピピャ

ニカッ

おいで
はやく
ハァ
ハァ

ピピピピピピピピ
ハァハァ
ハァ

ハァハァ
ハァ
ハァハァハァ

ピーピピィ
ピーピィ
ハァ ハァ
ハァ…

ヴ〜
ガシャ
ガシャン
ヴ

ハァ ハァ

いいか
もう一度
聞くぞ
お前の
名前は？

アガ
ハァ
ハァ

例の奴を
発見しま
した
いや
いいんだ
覚えていな
ければ

でどうします？

もう……

早めに
つぶしちゃってくださいよ……

オワリ

とにかくアレでした

◆安彦　麻理絵◆

入選した頃、編集部にて

入選作「おんなのこである条件」('89・10)より

私がガロに入選したのは確か三年ぐらい前です。ハッキリいって、努力も苦労もしないで入選しました。持ち込みじゃなくて、ゲンコーを郵送するってゆーカタチをとったので、入選したとゆう事態がうまくのみこめず、ピンとこなくて、いつまでもなんか頭の中がフワフワしていて、なんかとにかくアレでした。

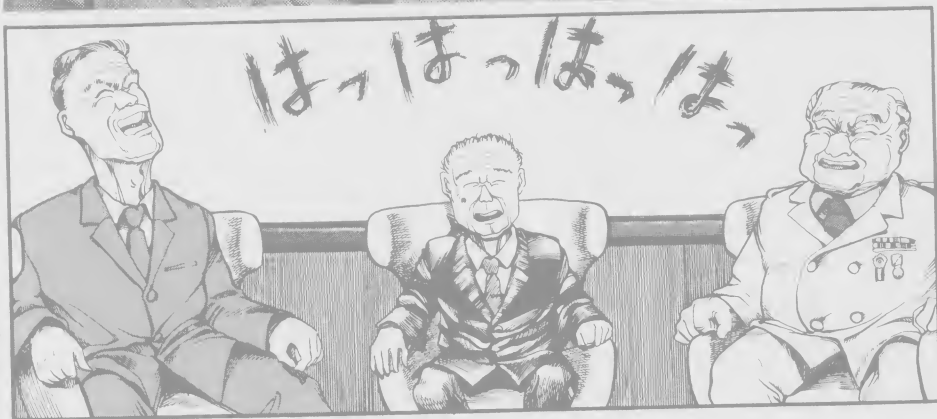
でもって「漫画が雑誌にのるのって、なんかわりとカンタンなんだなあー」と思って、調子づいて、もー一本かいて送ったら、ソレもまたのっけてもらえたんです。だから私は「もしかしてアタシって、すっげーサイノーあんじゃないのかしら？」とゆう、今思うと恐しいくらいにモノスゲー大カンチガイ大会を一人でくりひろげていました。だから、入選したばっかしの頃の私はほんとーに超・バカだったと思います。あーんなチンケなドシロートな漫画でどーしてそんなにもイイ気になれたもんだか。でまあ、色々なんだかんだと、そんなこんなしてたある日、秋田書店のヤングチャンピオンにひろってもらいました。そこで私の担当になった編集の方は、まるで虎の穴のごとくキビシイ方で（でも「アビコさんにはまだ甘い方だよ」といわれた日にはじゃあ他の漫画家さんは一体どんなふーなのかホントにうーんと思ってしまいましたが）とにかく私は何度もその人の前でテーブルをひっくり返したくなるショードーにかられましたけど、でも、ただ私が未熟なだけでした。漫画に対して誠実じゃない自分が悪いんですから、仕方ないんでした。でもって、そんなふーに反省してるだけじゃーダメで反省してるヒマがあったらおもしろい漫画かかなきゃいかんのでした。（でもそれはあたり前ですが、容易にできる事じゃないようです）

漫画がガロにのったばっかしの頃は、「続けよう」とゆう気は正直いって、あまりありませんでした。ありませんでしたとゆうのにどーゆーわけか今はできれば続けたいと願うようになってしまいました。でもまあ願ってるだけじゃあ、ただの泡と消えるアイドル歌手と一緒に、あっとゆーまに忘れさられて仕事もなくなっちゃうのでしょうけども。

私が今も、漫画家でいたい、と思ってられるのは、長井さんに初めてお会いした時に、「あなたは漫画をかき続けなさい」といって頂いたから、だと思います。そういって頂けてなかったら、案外今頃、漫画家じゃなくて、なんか、チャラいことやってたかもしんないですね。

7キロ太りました

◆大越　孝太郎◆

昨年6月、対談のあとで

入選作「アカグミノカチ」('86・12)より

初めて自分の漫画をガロに載せていただいたのが7年くらい前で日にちに換算すると2370日前です。時間にすると56880時間前で分にすると3412800分前になります。その間に僕は26歳になり7キロ太りました。ずいぶん経ったなあとつくづくおもい、新人の頃がなつかしくなります。その頃はまだ長井さんが一番奥の席にひょっこり座っておられ、『いつもごくろうさまです。』と原稿をみてくださった。当時僕は何回かほかの出版社にも持ち込みをした事があり、そこの編集者はいそがしいのかなんだかわからないけど乱暴に（本当に乱暴に）原稿をめくり『君どこかほかにもっていった事あるの？』といいました。『青林堂へ、』と応えると『ああ、ガロネ、』。ガロ出身の作家なら一度はこの『ああ、』の顔をみたことがあると思います。いやな顔です。未熟なところをグチグチいわれてもやぶさかではなかったけど、僕の場合一コマ描くのに何時間もかかる原稿を粗雑に扱われるのはたまらないです。利益優先雑誌では一コマ数時間じゃダメなのもわかるけどもうちょっとやさしくしてくれたっていいのにねえ。長井さんは一枚一枚丁寧に原稿をめくり『がんばりなさい、もっとかいてもってきなさい、なまけちゃだめだよ』といっていた。青林堂の編集さんは原稿に対する敬意の様なものをもっている感じがします。僕はいま自分の性格を考えると青林堂がなかったら自分は漫画を描き続けていなかったと思う。おせじではなく青林堂のような新人登用がなかったらとっくに転職していた。この仕事を続けてきて7キロ太ったのは（動かないから）ショックだけどいろんな事がわかっていろんな人に会えてとてもうれしいです。初めて読者の方から手紙をいただいたり大好きな人間椅子とお話しできたり、その都度協力していただいた編集さんや友達にいまとても感謝しています。

　今回ガロは新人特集だそうですが自分が新人のときを思いだしてみると今とあまり違わない気がします。技術的には上達しているけどそれもまだまだだしお金もないし精神年齢なんか20才過ぎてから止まっちゃってるし。でも本当はそれが逆にいいのではないかと思ったりします。これからも読者の皆さんには新鮮な漫画を読んでいただきたくがんばります。ありがとうございます。

　ところで最近の新人では三本さんがダントツに面白いです。タリラリラーンのベテランさんは『にっぽんぱらだいす』を見習おう!!